

Iwatani

2026年3月期 決算説明資料

（見通しに関する注意事項）

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

2026年5月22日
岩谷産業株式会社

〔証券コード 8088〕

目次

1. 2026年3月期 決算概況

- － 決算ハイライト
- － 連結経営成績
- － 連結経営成績（セグメント別）
- － セグメント別営業利益分析
- － 貸借対照表（連結）

2. 2027年3月期 通期業績予想

- － 通期業績予想
- － セグメント別見通し

3. トピックス

- － 中東情勢への対応
- － 中期経営計画「PLAN27」の進捗

2026年3月期 決算概況

2026年3月期 決算ハイライト

▶ 売上高は増収。営業利益、経常利益は減益となったものの、当期純利益は増益。

2026年3月期 決算概要

- 増収要因：マテリアル事業や産業ガス・機械事業の工業分野向け商品の販売が堅調に推移したことにより増収。
- 減益要因：ヘリウム収益の低下やLPガスの市況要因により減益。

当期純利益は固定資産売却益もあり増益。

※アイエスジー社の企業結合に関する暫定的な会計処理が確定したため、2025年3月期の営業利益、経常利益、当期純利益が昨年発表した金額から修正しています。本資料に記載されているデータは全て、上記内容を反映しています。

売上高

9,085億円

前期比 +255億円 (+2.9%)

営業利益

383億円

前期比 ▲79億円 (▲17.1%)

経常利益

552億円

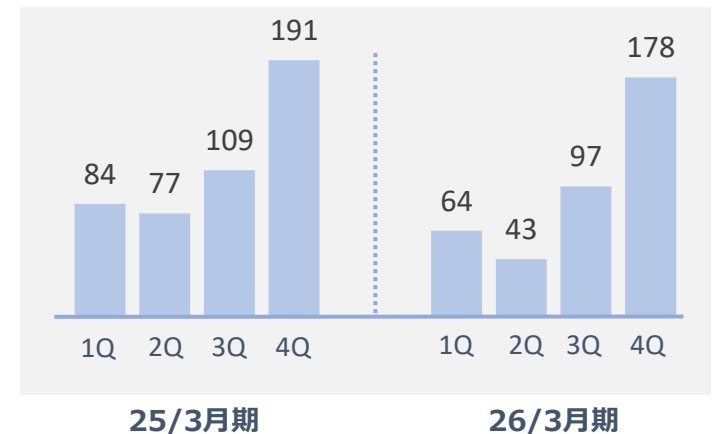
前期比 ▲62億円 (▲10.2%)

当期純利益

476億円

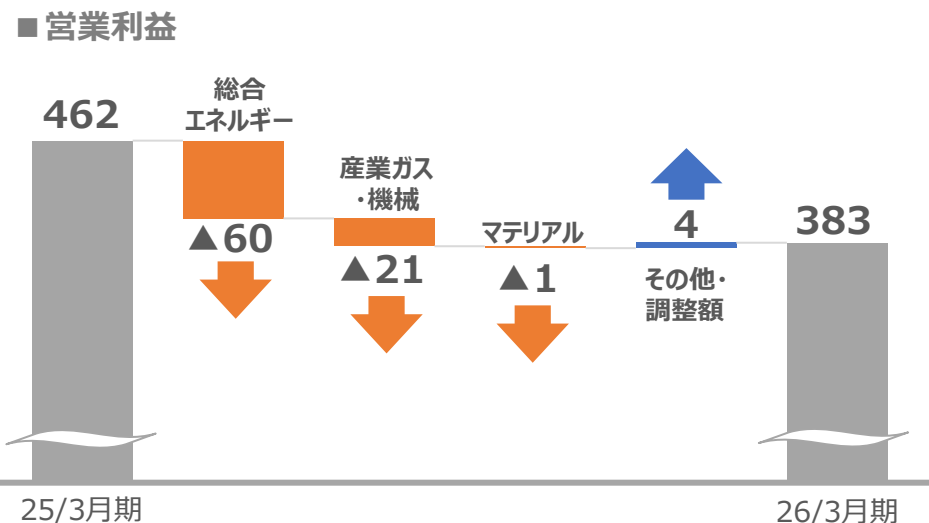
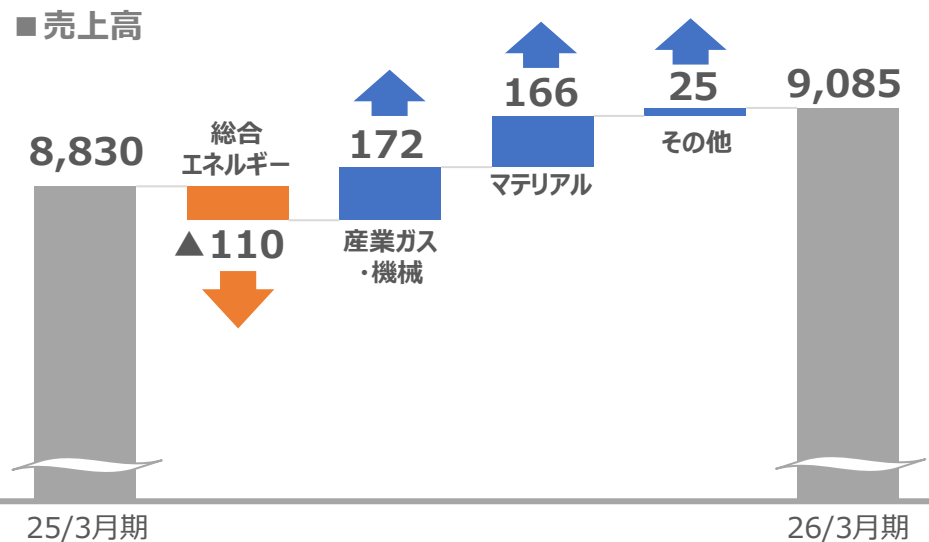
前期比 +72億円 (+17.8%)

■ 営業利益 四半期推移 (億円)



連結経営成績

	2026/3月期 実績	2025/3月期 実績	増減額 (増減率)	2026/3月期 通期予想※
売上高	9,085	8,830	+255 (+2.9%)	8,880
売上総利益	2,358	2,343	+15 (+0.7%)	-
営業利益	383	462	▲79 (▲17.1%)	358
市況要因除く 営業利益	440	460	▲19 (▲4.3%)	417
営業外損益	169	152	+16 (+10.8%)	-
コスモエネルギー HDに関連する 持分法投資損益	109	91	+18 (+20.2%)	79
経常利益	552	614	▲62 (▲10.2%)	482
親会社株主に帰属 する当期純利益	476	404	+72 (+17.8%)	405



※2026年2月10日公表

連結経営成績（セグメント別）

	2026/3月期 実績	2025/3月期 実績	増減額	増減率
売上高	9,085	8,830	+255	+2.9%
■ 総合エネルギー事業	3,677	3,787	▲110	▲2.9%
■ 産業ガス・機械事業	2,887	2,714	+172	+6.4%
■ マテリアル事業	2,183	2,016	+166	+8.3%
■ その他	336	310	+25	+8.3%
営業利益	383	462	▲79	▲17.1%
■ 総合エネルギー事業	134	195	▲60	▲30.8%
■ 産業ガス・機械事業	154	175	▲21	▲12.3%
■ マテリアル事業	116	117	▲1	▲1.1%
■ その他・調整額	▲22	▲26	+4	-
市況要因を除く営業利益	440	460	▲19	▲4.3%
（コスモエネルギーHDに関連する 持分法投資損益）	109	91	+18	+20.2%
経常利益	552	614	▲62	▲10.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	476	404	+72	+17.8%

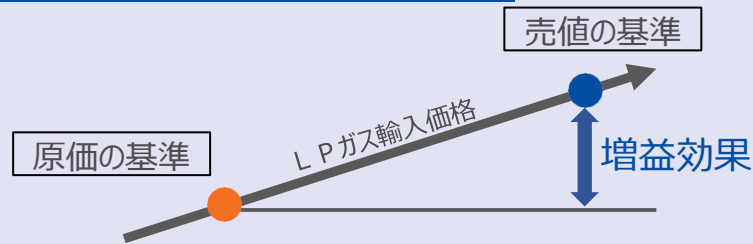
LPガス輸入価格の変動による増減益効果（イメージ）

- 前提①** 卸売価格はLPガス輸入価格に連動
 ※LPガス輸入価格：中東玉(CP)と米国玉(MB)
- 前提②** 輸入～販売の期間は約3カ月（法定備蓄期間：40日）

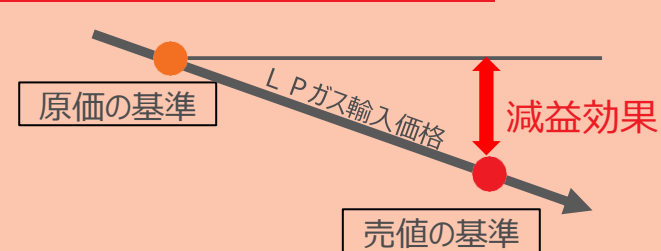
LPガス輸入価格が変動すると短期的に業績に影響が生じる（＝市況要因の発生）

⇒LPガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ ※在庫量・販売時期・販売数量等によって実際の業績への影響は変動します。

LPガス輸入価格の上昇局面

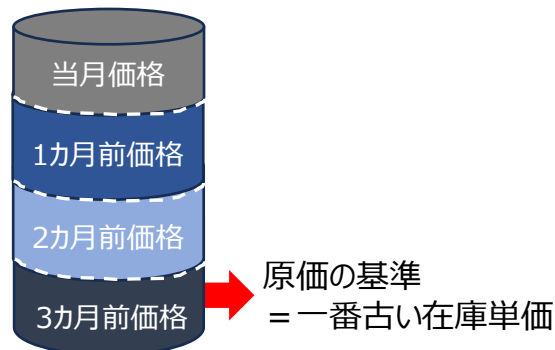


LPガス輸入価格の下落局面

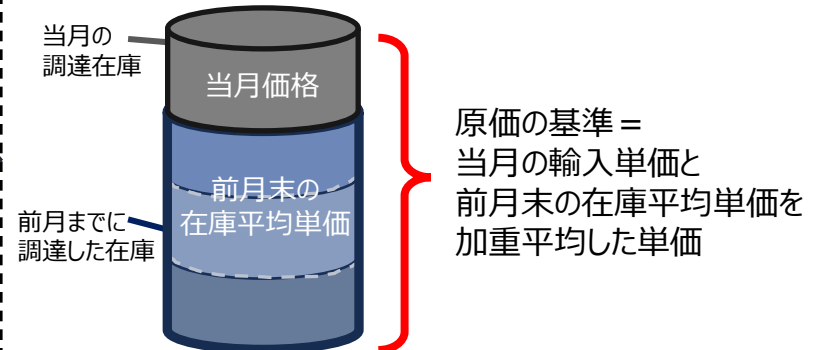


在庫評価方法の変更

先入先出法（～2025年度2Q）



総平均法（2025年度3Q～）



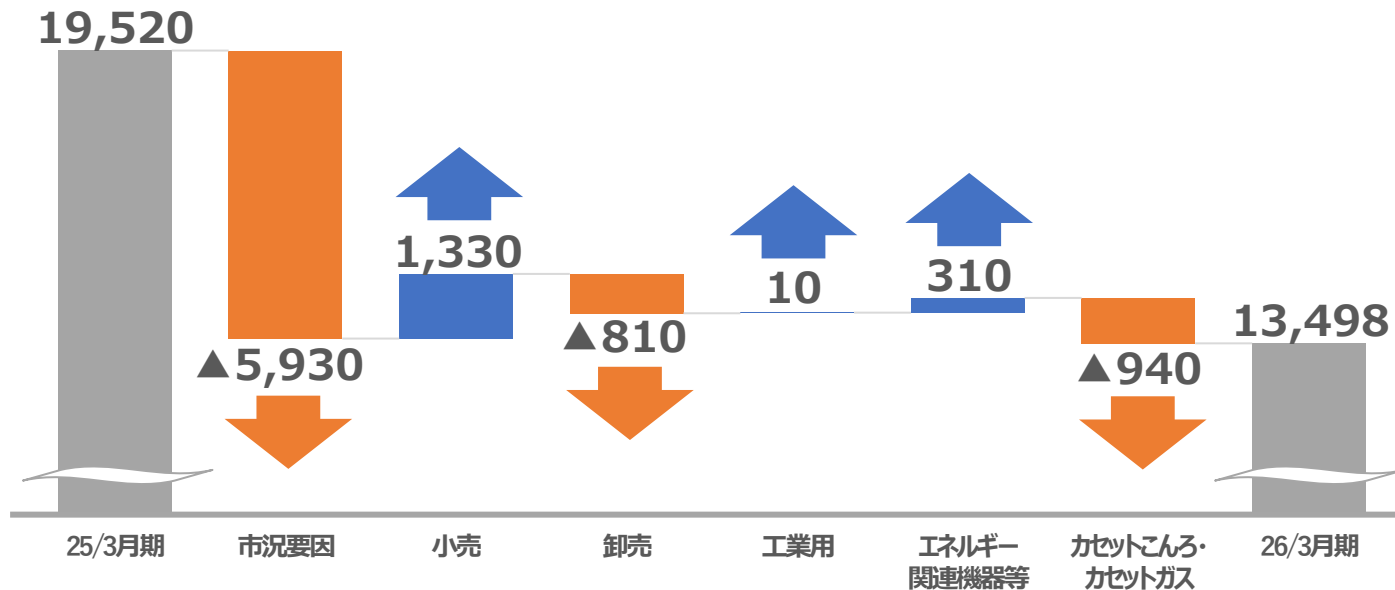
セグメント別営業利益分析（総合エネルギー事業）

決算実績

	2026/3月期 実績	2025/3月期 実績	増減額	増減率	2026/3月期 予想	達成率
売上高	367,732	378,782	▲11,050	▲2.9%	370,000	99.4%
営業利益	13,498	19,520	▲6,021	▲30.8%	13,000	103.8%
市況要因除く 営業利益	19,207	19,302	▲94	▲0.5%	18,930	101.5%

※2026年2月10日公表

営業利益増減分析



主な営業利益増減要因

■市況要因 ▲5,930

(億円)	1Q	2Q	上期 累計	3Q	4Q	通期 累計
当期	▲11.8	▲19.4	▲31.2	▲24.4	▲1.4	▲57.1
前期	▲0.7	▲9.8	▲10.5	+3.6	+9.1	+2.1
差異	▲11.1	▲9.6	▲20.7	▲28.0	▲10.6	▲59.3

■小売 +1,330

- ・LPガスの販売数量が増加し、収益性も改善

■卸売 ▲810

- ・LPガスの販売数量が減少

■工業用 +10

- ・取引先の拡大により販売数量が増加

■エネルギー関連機器等 +310

- ・LPガス発電機や住設機器等の販売が堅調

■カセットこんろ・カセットガス ▲940

- ・国内および中国での販売が低調

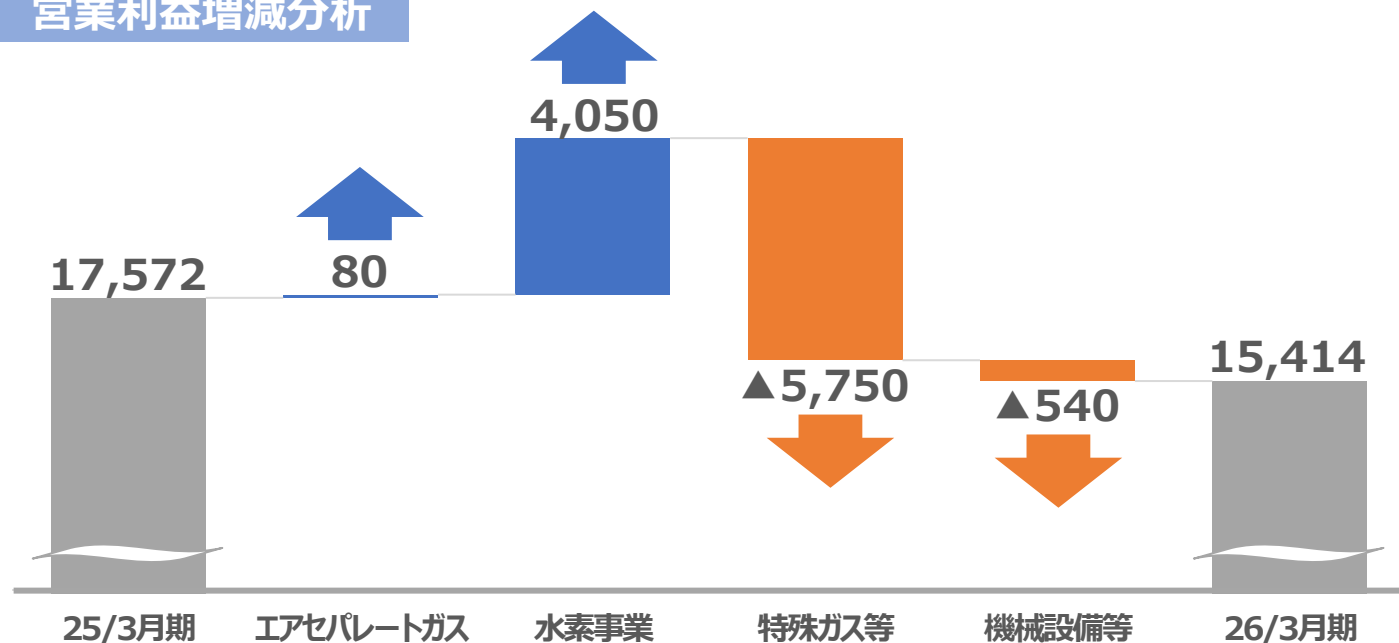
セグメント別営業利益分析（産業ガス・機械事業）

決算実績

	2026/3月期 実績	2025/3月期 実績	増減額	増減率	2026/3月期 予想	達成率
売上高	288,730	271,449	+17,280	+6.4%	269,400	107.2%
営業利益	15,414	17,572	▲2,158	▲12.3%	13,800	111.7%

※2026年2月10日公表

営業利益増減分析



主な営業利益増減要因

- **エアセパレートガス +80**
・電子部品、光ファイバー業界向けに販売が好調
- **水素事業 +4,050**
・水素ガスや水素関連設備の販売が伸長
- **特殊ガス等 ▲5,750**
・ヘリウム市況が軟化し、収益性が低下
- **機械設備等 ▲540**
・自動車業界向け設備の販売が減少

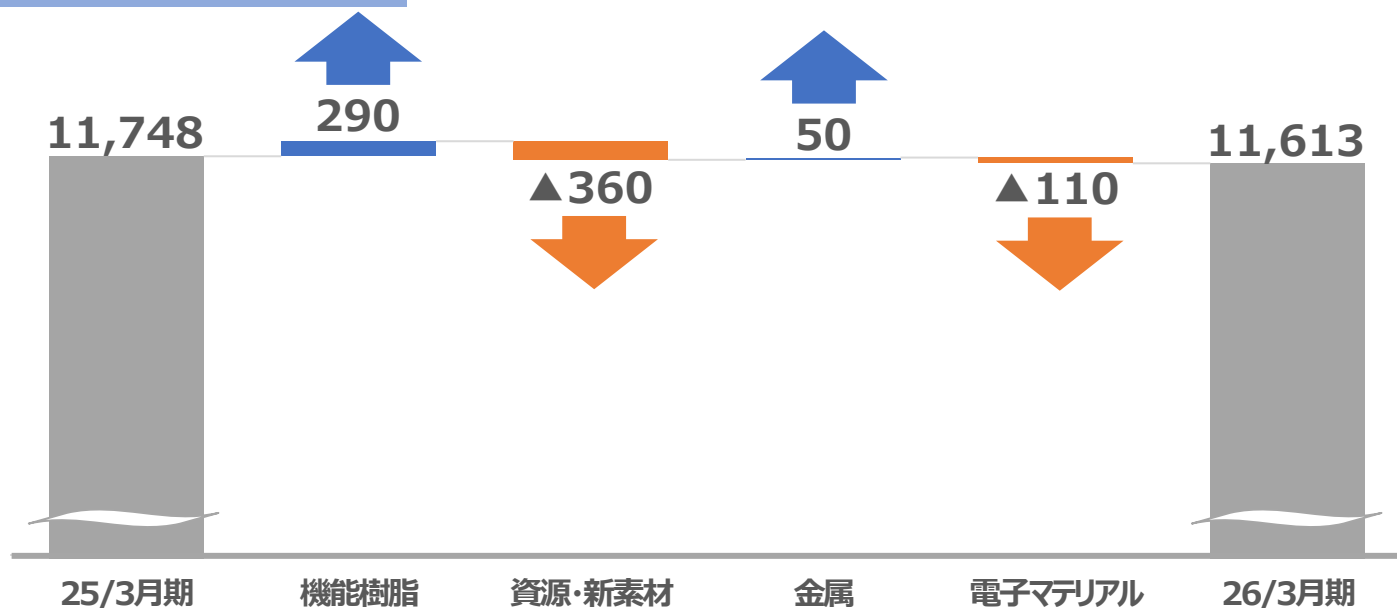
セグメント別営業利益分析（マテリアル事業）

決算実績

	2026/3月期 実績	2025/3月期 実績	増減額	増減率	2026/3月期 予想	達成率
売上高	218,377	201,685	+16,691	+8.3%	217,000	100.6%
営業利益	11,613	11,748	▲134	▲1.1%	11,800	98.4%

※2026年2月10日公表

営業利益増減分析



主な営業利益増減要因

- 機能樹脂 **+290**
 - ・食品包装向け樹脂製品の販売が堅調
 - ・低環境負荷PET樹脂の販売数量が増加
- 資源・新素材 **▲360**
 - ・安定供給に努め、レアアース等の販売が伸長
 - ・ミネラルサンドは豪州の自社鉱区での収益性が低下
- 金属 **+50**
 - ・ステンレスが新規連結の影響により販売増加
- 電子マテリアル **▲110**
 - ・機能性フィルムの販売数量が減少

連結貸借対照表

- 売上債権や設備投資の実施等により総資産が増加。
- 旧東京本社の売却の収入等、有利子負債が減少。

(単位：億円)

	2026年 3月末	2025年 3月末	増減額	主な増減理由・備考
流動資産	3,179	3,284	▲105	売上債権の減少
（有形固定資産）	2,477	2,402	+75	
（無形固定資産）	355	486	▲130	
（投資その他の資産）	2,984	2,557	+427	投資有価証券の増加
固定資産	5,818	5,445	+372	
総資産	8,997	8,730	+267	
（流動負債）	2,111	2,549	▲438	コマーシャル・ペーパーの減少
（固定負債）	2,396	2,208	+187	
負債	4,507	4,758	▲250	有利子負債 2,473億円（▲170億円） 有利子負債依存度 27.5%
（自己資本）	4,370	3,860	+510	自己資本比率 48.6%
（非支配株主持分）	118	111	+7	
純資産	4,489	3,972	+517	
負債・純資産	8,997	8,730	+267	

※2026年3月期中間連結会計期間において、アイエスジーの全株式取得に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しています。

2027年3月期 通期業績予想

2027年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2027/3月期 予想	2026/3月期 実績*	増減額	増減率
売上高	9,600	9,085	+514	+5.7%
■ 総合エネルギー事業	4,047	3,964	+82	+2.1%
■ 産業ガス・機械事業	2,927	2,887	+39	+1.4%
■ マテリアル事業	2,573	2,183	+389	+17.8%
■ その他	53	49	+3	+7.4%
営業利益	488	383	+104	+27.4%
■ 総合エネルギー事業	231	150	+80	+53.2%
■ 産業ガス・機械事業	185	154	+30	+20.0%
■ マテリアル事業	130	116	+13	+11.9%
■ その他・調整額	▲58	▲37	▲20	-
市況要因を除く営業利益	488	440	+47	+10.8%
(コスモエネルギーHDに関連する 持分法投資損益)	88	109	▲21	▲19.6%
経常利益	590	552	+37	+6.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	455	476	▲21	▲4.5%

想定レート

為替 150円/\$

L P ガス輸入価格 550 \$ / トン

(2025年度実績)

為替 151.14円/\$

L P ガス輸入価格 549 \$ / トン

配当予想

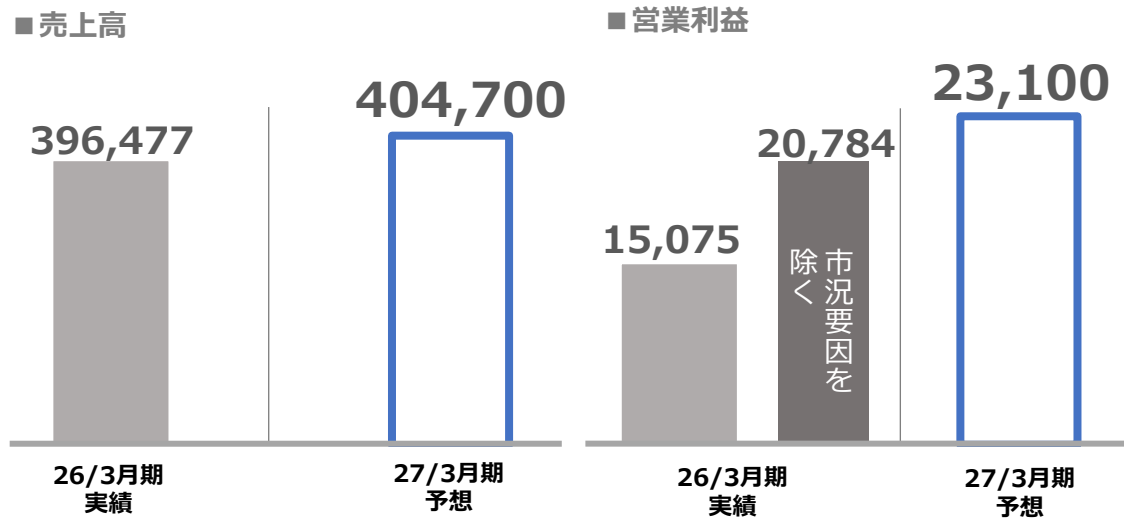
2027年3月期

- ・中間配当：23.5円 (予定)
- ・期末配当：23.5円 (予定)
- ・年間配当：47.0円 (予定)

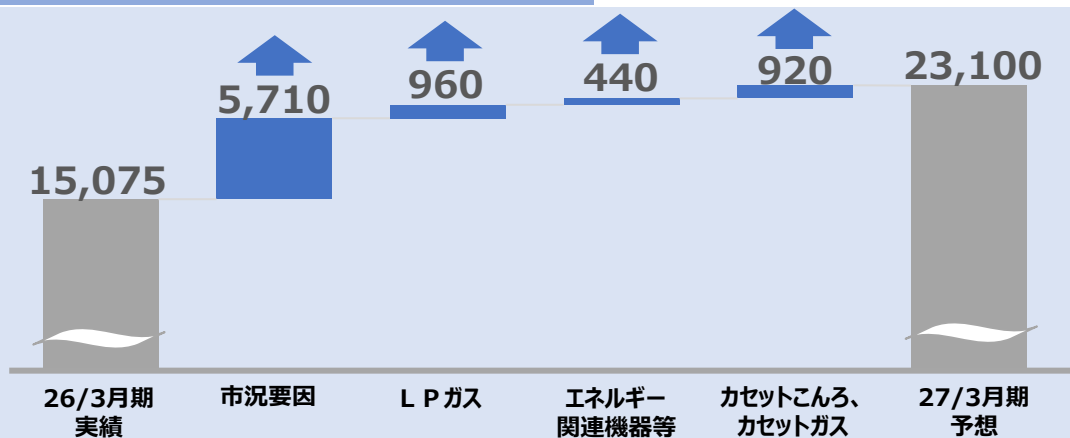
※2027年3月期より、連結子会社2社を「その他」から「総合エネルギー事業」へ区分変更することに伴い
2026年3月期実績を組み替えています

総合エネルギー事業の見通し

売上高・営業利益 見通し



営業利益増減見通し



通期業績予想の達成に向けて

・民生用 L P ガス事業の拡大

- ・ M&Aを中心とした L P ガス直売顧客数の拡大による販売数量の増加
- ・ エネルギー関連機器の拡販を通じた L P ガス需要の創出
- ・ 物流合理化による収益性改善

・工業用 L P ガスの拡販

- ・ 顧客ニーズに対応した燃料転換の推進
- ・ カーボンオフセットガス拡販等を通じたエネルギー低炭素化への取り組み

・カートリッジガス事業の拡大

- ・ 新商品開発を通じた需要創出による拡販
- ・ カーボンオフセットカセットガスの販売拡大

・海外事業の拡大

- ・ 東南アジアでの L P ガス事業および低・脱炭素関連設備の拡販
- ・ 米国でのガス保安機器の市場参入

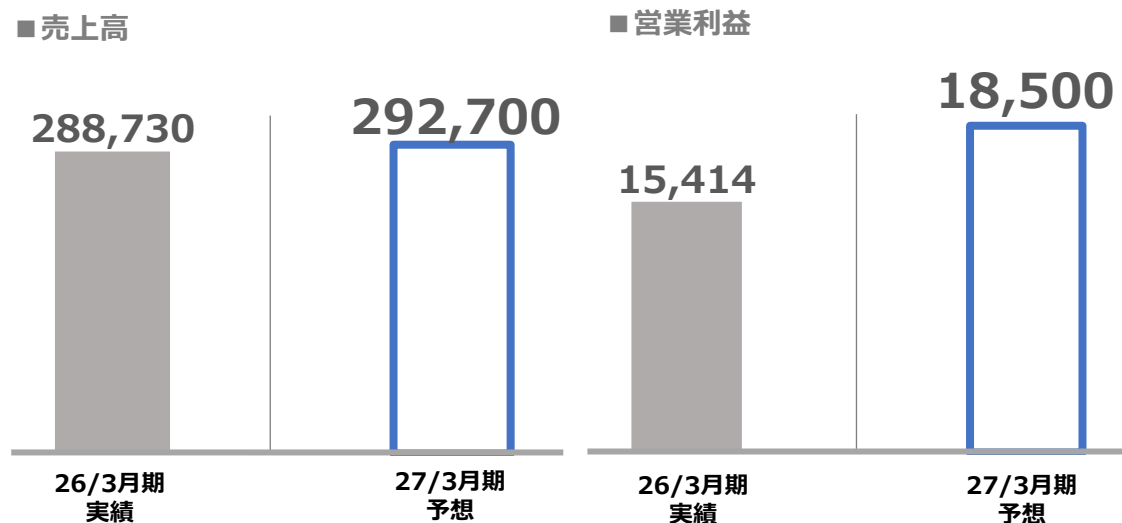
業績が変動する主な要因

・ L P ガス輸入価格、為替の変動

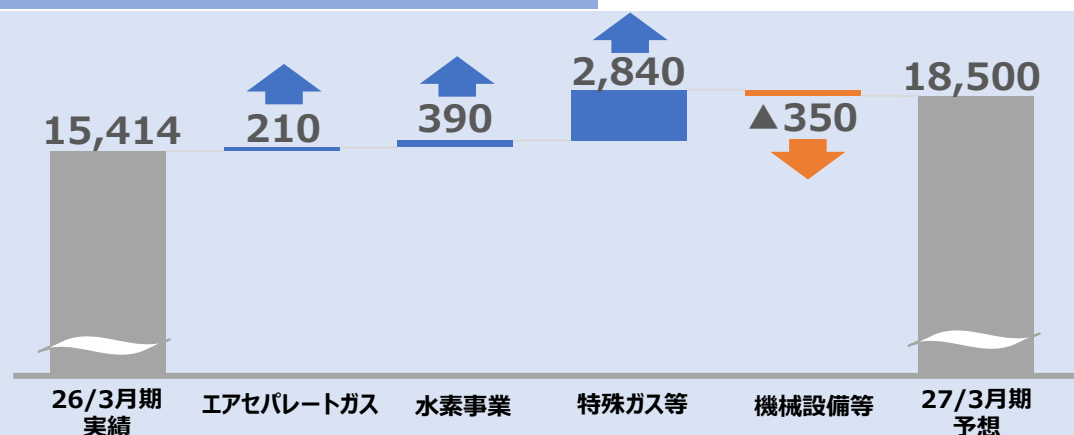
・気温高等による L P ガス販売数量への影響

産業ガス・機械事業の見通し

売上高・営業利益 見通し



営業利益増減見通し



通期業績予想の達成に向けて

・エアセパレートガスの拡販と適正な価格対応

- ・ 光ファイバーや電子部品業界を中心に販売拡大
- ・ 調達コスト・物流コスト上昇への適正な価格対応

・液化水素の新規需要取り込み

- ・ 脱炭素需要に対し、液化水素や関連設備の拡販を強化

・特殊ガスの事業拡大

- ・ 調達コスト・物流コスト上昇への適正な価格対応
- ・ ヘリウムガス・炭酸ガスの安定調達、安定供給の確保

・機械設備の拡販

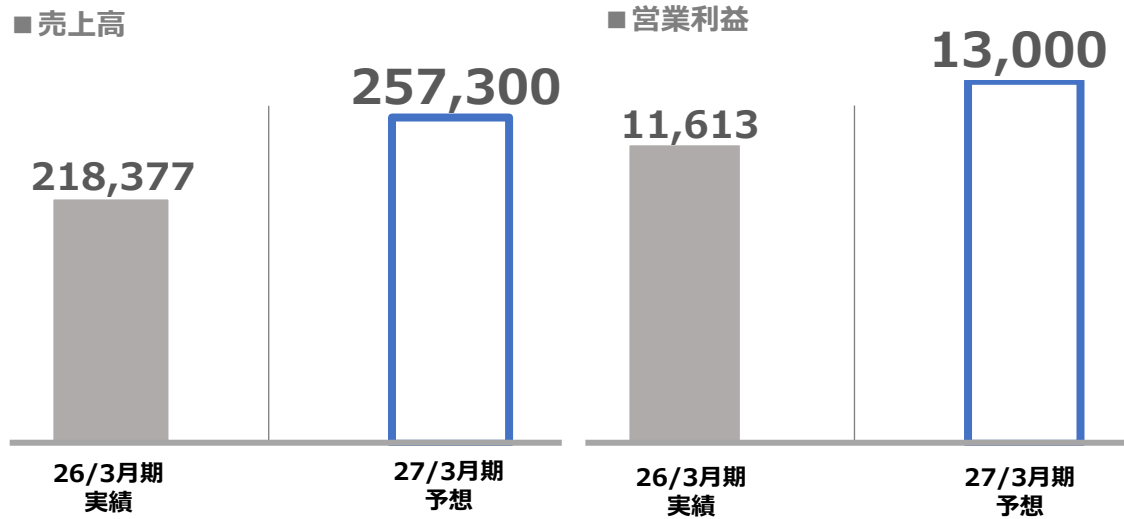
- ・ 脱炭素関連など成長分野向けに機械設備の拡販
- ・ 事業拡大に向けた低温機器等の新工場建設

業績が変動する主な要因

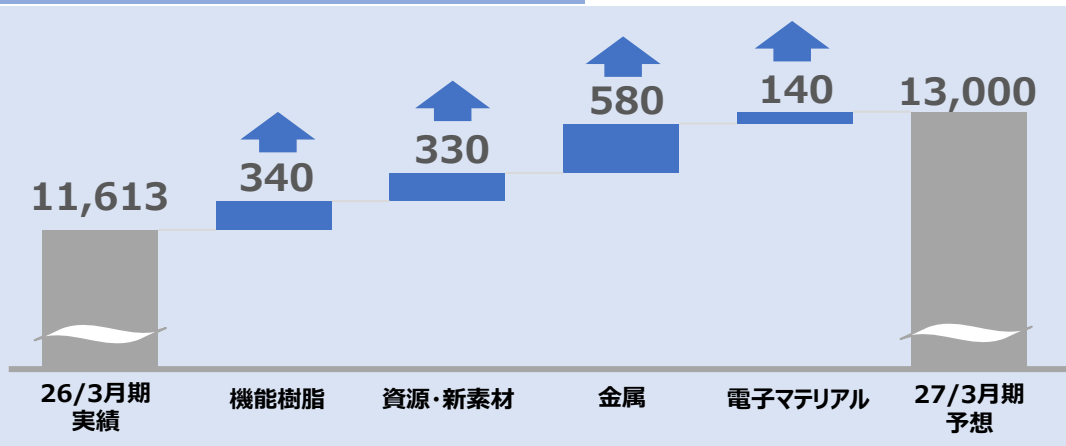
- ・ 製造コストや物流コスト上昇
- ・ 製造業の生産動向

マテリアル事業の見通し

売上高・営業利益 見通し



営業利益増減見通し



通期業績予想の達成に向けて

・環境対応商材による付加価値ビジネスの強化

- ・低環境負荷PET樹脂（バイオPET・アルミ触媒PET）の販売拡大
- ・バイオマス燃料（PKS、木質ペレット）の拡販

・資源事業の強化

- ・ノルウェー産グリーンチタン鉱石の販売
- ・豪州ミネラルサンド事業における複数鉱区を活用した収益拡大
- ・サプライチェーンの多様化によるレアアース等、重要鉱物資源の供給体制の構築

・金属事業の拡大

- ・国内加工拠点の活用によるステンレスの拡販
- ・海外金属加工事業の製造能力増強を通じた事業拡大

業績が変動する主な要因

・資源市況の変動

・為替変動

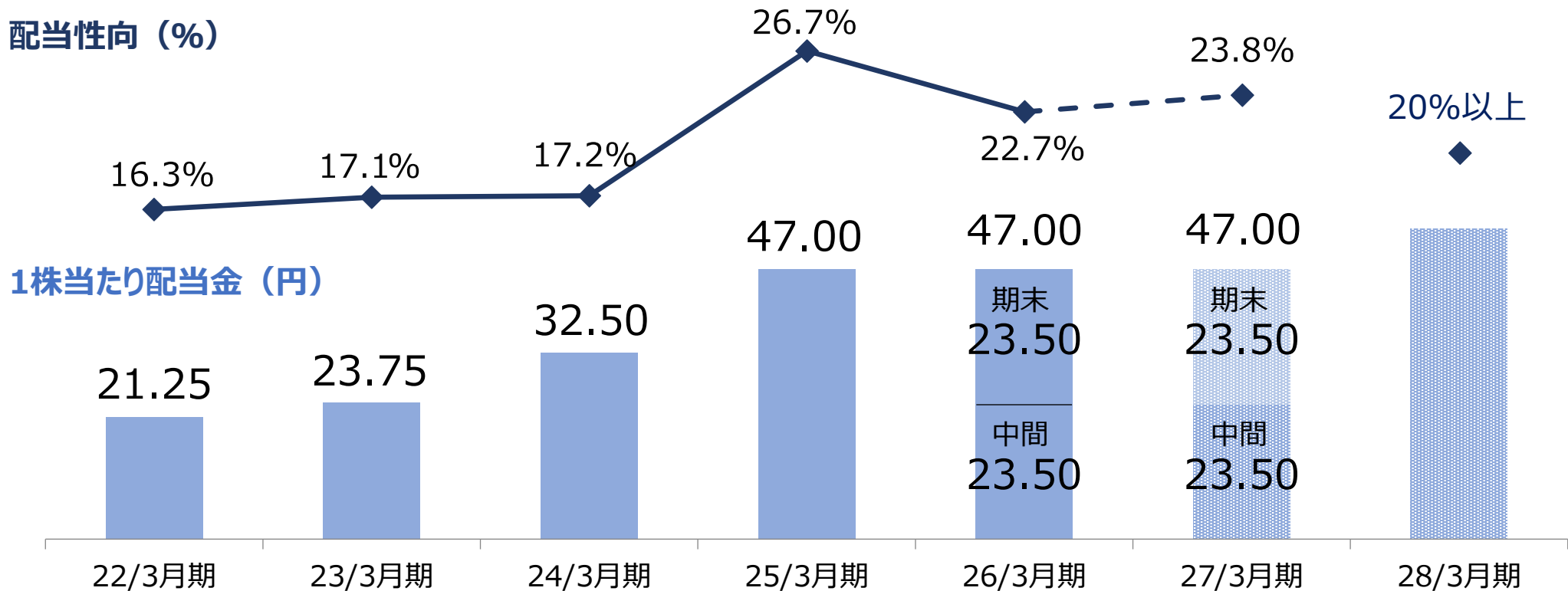
株主還元

【株主還元方針】

累進配当 + 2028年3月期に配当性向20%以上

⇒ 2027年3月期の配当については、年間47.00円（中間23.50円、期末23.50円）を予定

配当性向 (%)

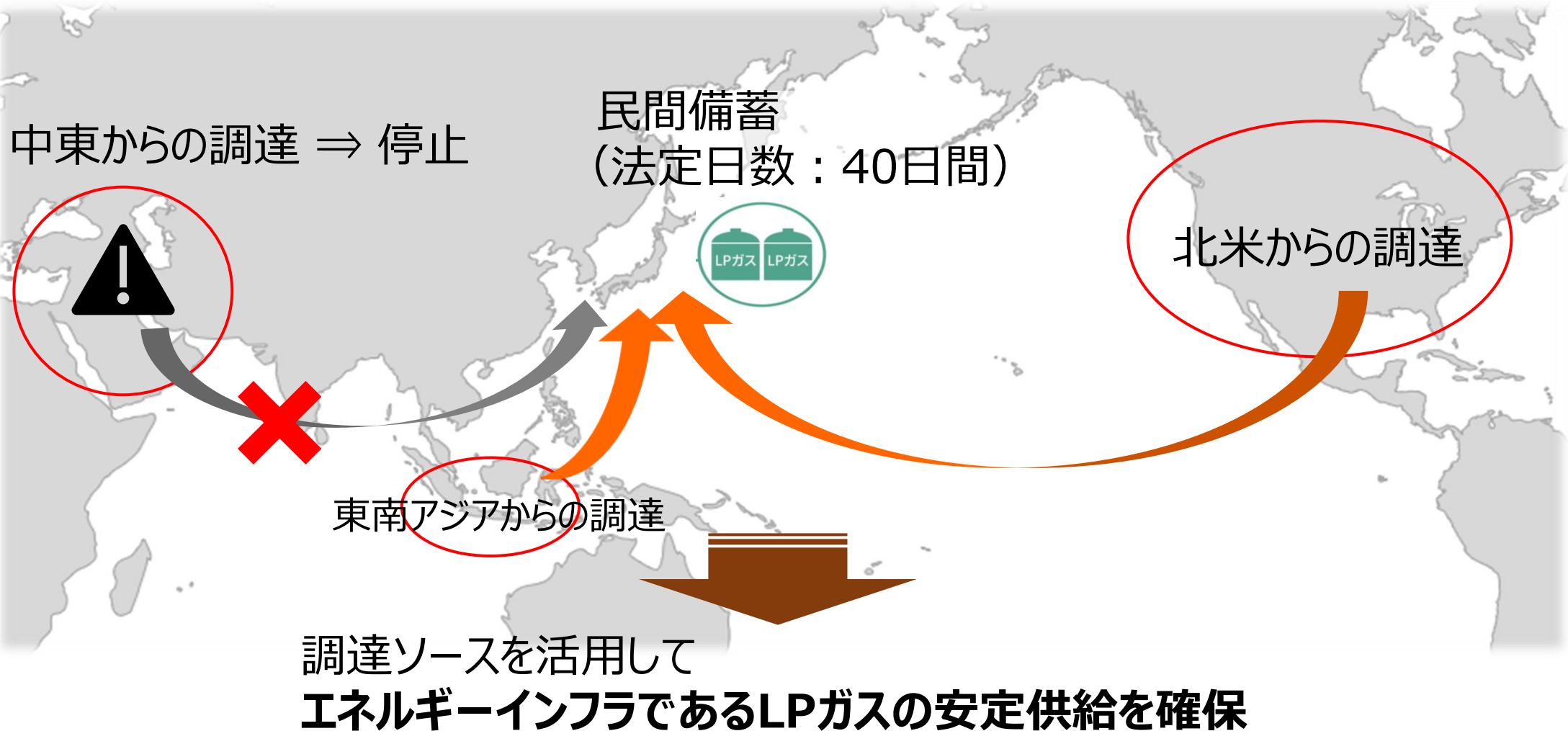


※2024年9月30日を基準日、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しました。記載内容は、当該株式分割後の金額です。

トピックス

中東情勢への対応（LPガス）

主に中東・北米など複数のソースより調達



中東情勢への対応（ヘリウム）

カタール・北米の2つの調達ソース



カタール供給停止後も主に既存顧客への安定供給に尽力

PLAN 27 経営数値目標

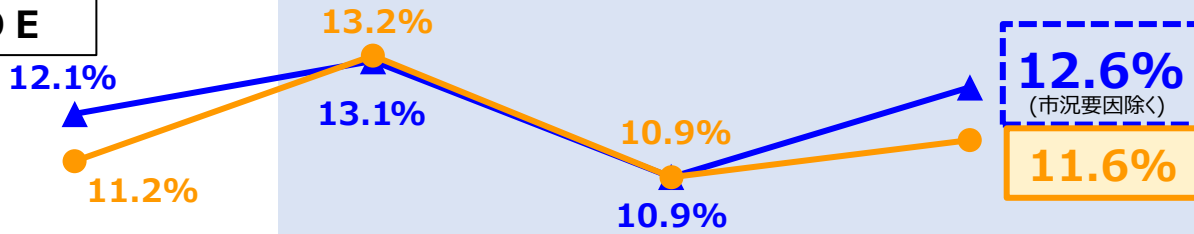
目標

10% 以上

6% 以上

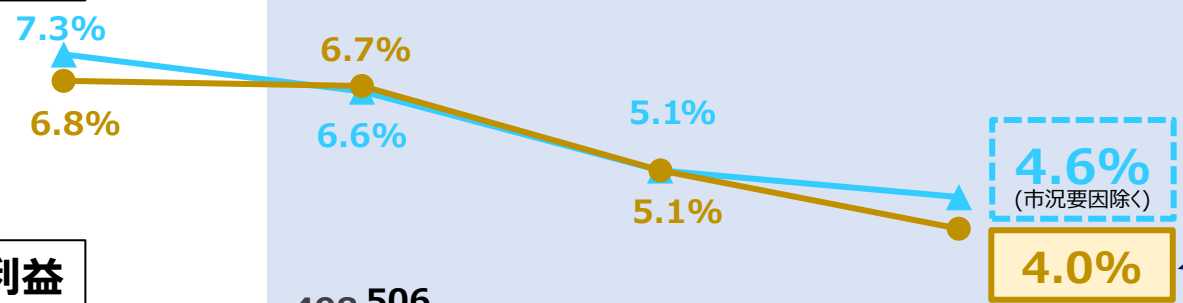
650

ROE



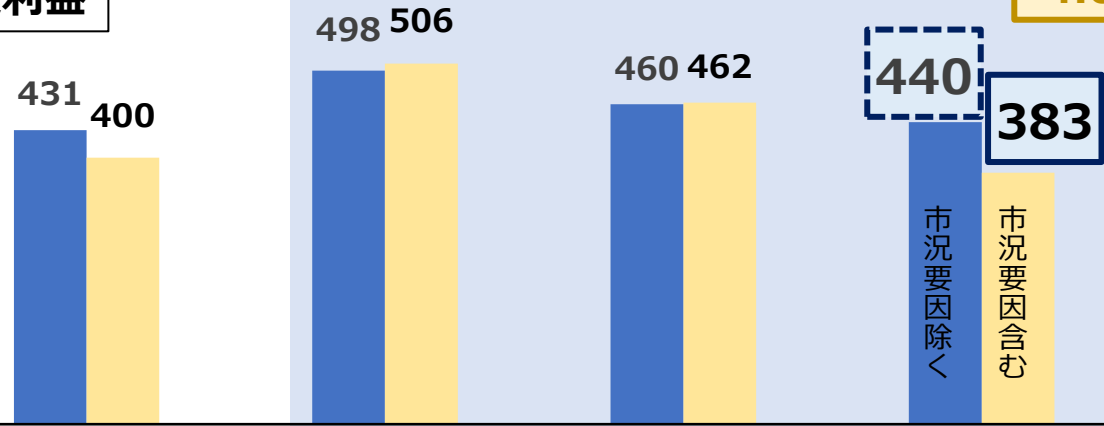
2026年3月期のROEは11.6%と0.7ポイント向上し、株主資本コスト8.0%を上回る水準を維持しました。

ROIC



2026年3月期のROICは4.0%と1.1ポイント下落し、WACC5.5%を下回る水準となりました。

営業利益



2026年3月期の営業利益は383億円、市況要因を除くと440億円と減益となりました。

23/3月期 24/3月期 25/3月期 26/3月期 28/3月期

PLAN 27

PLAN 27 資本政策

PLAN 27

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2028年3月期
net DER	0.35倍	0.61倍	0.61倍	0.50倍	0.6倍程度
有利子負債	1,394億円	2,545億円	2,644億円	2,473億円	2,900億円程度
投資額	700億円	1,728億円※1	687億円	573億円	5年間累計で4,700億円

※1 コスモエネルギーHDの株式取得含む

3年間累計投資額 2,989億円

2026年3月期

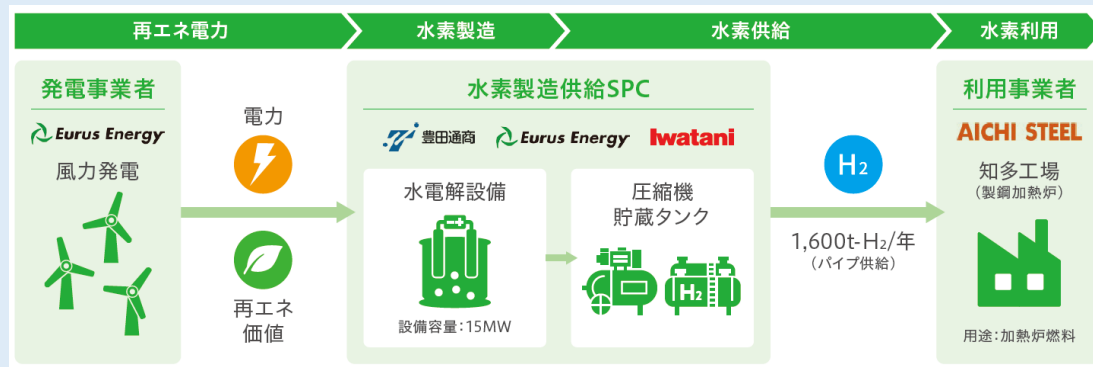


PLAN 27 重点施策

水素戦略

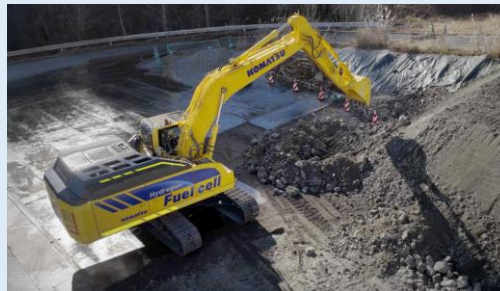
水素社会推進法に基づく価格差に着目した支援（値差支援）制度の認定取得

- ✓ 豊田通商、ユーラスエナジーとともに、再生可能エネルギー由来の電力を活用し、愛知製鋼の構内に設置した、水電解装置により製造した水素を供給予定
- ✓ 年間約 1,600t の水素を製造・供給できる体制を目指す



水素燃料電池搭載油圧ショベルの実証実験

- ✓ 日本で初めて水素燃料電池を搭載した中型油圧ショベルの建設現場での実証実験を実施
- ⇒ 建設現場における水素の利用拡大に貢献



Iwatani

KOMATSU

PLAN 27 重点施策

水素戦略

国内での商用車向け水素ステーションの推進

Iwatani × COSMO

東京都内に、商用車向け水素ステーションを2カ所運営、1カ所を建設中

- ・①平和島と②有明自動車営業所に建設した水素ステーションは順調に稼働
- ・③新砂に建設中の大型トラック向け水素ステーションは、2027年頃に開所予定

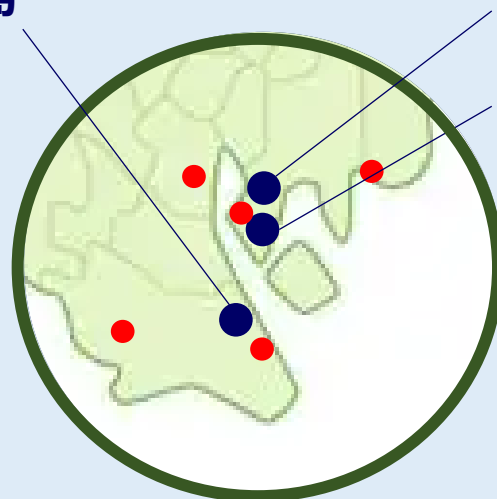
<東京湾岸エリアの当社水素ステーション>

①岩谷コスモ水素ステーション平和島

開所日：2024年

供給能力：60kg/h

FC大型トラックへの短時間での充填可能



●岩谷産業の水素ステーション

③岩谷コスモ水素ステーション新砂（仮称） ※建設中

②岩谷コスモ水素ステーション有明自動車営業所

開所日：2025年

供給能力：120kg/h以上

国内初の日本製液化ポンプ使用、2台同時充填が可能



PLAN 27 重点施策

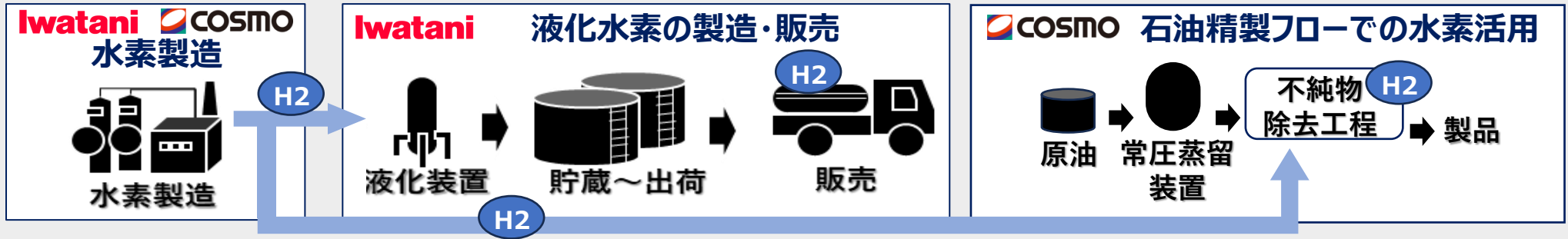
水素戦略

Iwatani × COSMO

コスモ石油（株）千葉製油所における液化水素製造プラント建設

今年度中の投資決定に向け協議中

- ・場所 : コスモ石油（株）千葉製油所
- ・稼働開始 : 2029年度（予定）



Iwatani × COSMO

水素エンジニアリングの体制強化 (コスモ岩谷水素エンジニアリング合同会社)

(取り組み事例)

- ① コスモ石油（株）千葉製油所における液化水素製造プラント
- ② 値差支援に認定された愛知製鋼におけるオンサイト型低炭素水素製造供給事業

PLAN 27 重点施策

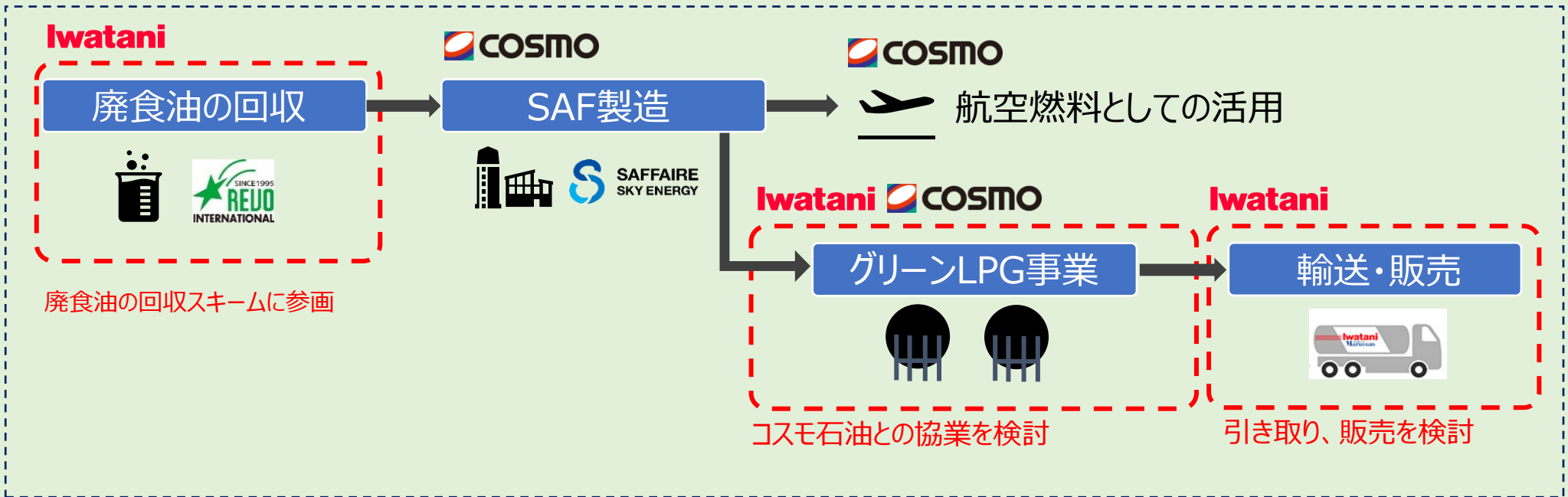
脱炭素戦略

SAF（持続可能な航空燃料）由来のグリーンLPG事業



SAF製造に伴うグリーンLPGの製造・供給スキームの検討

⇒ SAF製造につながる廃食用油回収に向け、当社顧客ネットワークを活用

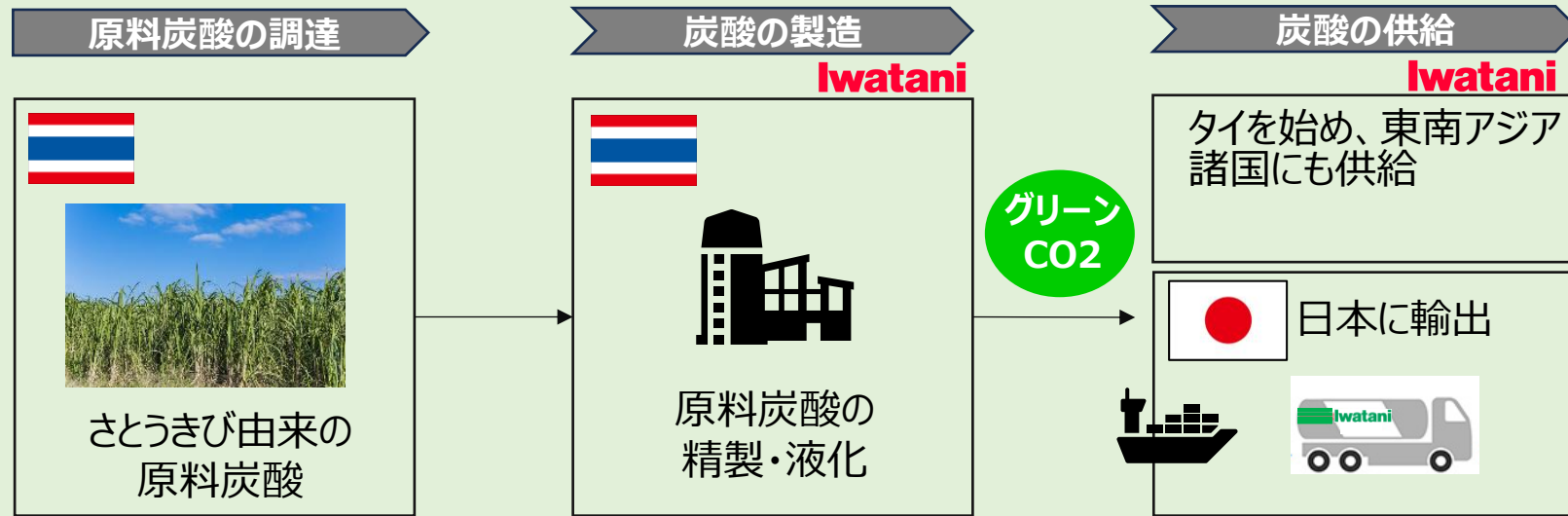


PLAN 27 重点施策

脱炭素戦略

「グローバルサウス未来志向型共創等事業」の採択案件

✓ バイオエタノール由来の液化炭酸ガスプラントの設立の検討（2027年4月生産開始予定）



✓ 世界最大手のPET樹脂メーカーと使用済みペットボトルのリサイクルPET事業の検討



PLAN 27 重点施策

脱炭素戦略

福島水素エネルギー研究フィールドで製造された低炭素水素を活用した「ハイドロカット」の製造

- ✓「ハイドロカット」は水素とエチレンの混合ガス
 - ✓再生可能エネルギー由来の水素を使用した「ハイドロカット」を福島第一原子力発電所構内の溶接型タンク解体工事向けに供給
- ⇒ 地産地消による水素利用を促進
⇒ 製造工程段階の脱炭素化に貢献

- *「ハイドロカット」の利点
(アセチレン・LPGとの比較)
- CO₂排出量を84%削減
 - 作業環境や効率の改善、品質の向上



福島水素エネルギー研究フィールド

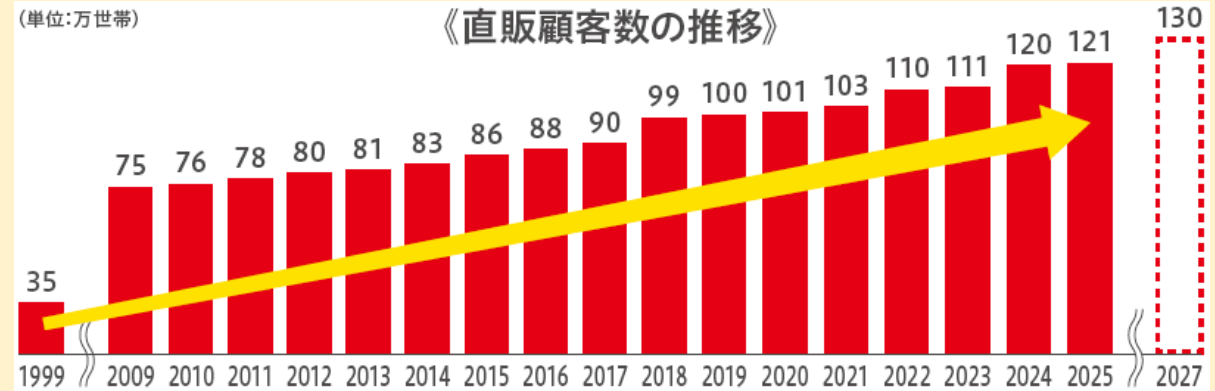
PLAN 27 重点施策

国内エネルギー・サービス戦略

LPガス直売顧客数の着実な増加

2023年3月末：110万世帯
 2024年3月末：111万世帯（+1万世帯）
 2025年3月末：120万世帯（+9万世帯）
 2026年3月末：121万世帯（+1万世帯）

⇒ 3年間で累計11万世帯の増加



事業コスト削減への取り組みを推進

- ✓ 配送・充填拠点の統廃合・リニューアル
- ✓ 輸入基地に三次基地機能（充填機能）付加



根岸液化ガスターミナル

PLAN 27 重点施策

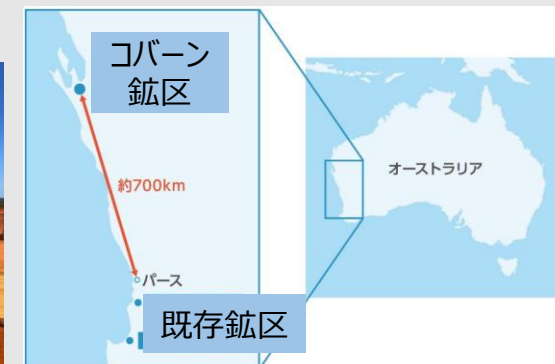
海外戦略

豪州のミネラルサンド事業会社の買収

- ✓コバーン社の取得により新たな鉱区を確保、供給能力がこれまでの2倍以上に増強



コバーン鉱区



希少資源である高純度チタン鉱石の権益確保

- ✓ノルウェーのノルディック・マイニング社へ出資
- ✓ノルウェーは発電量のうち再生可能エネルギーの比率が高く、グリーンなチタン鉱石として付加価値が高い
- ✓2024年12月に工場が完成し、2025年に試運転を実施
2026年度に日本市場へ販売開始予定



©2026 Jostein Vedvik. All Rights Reserved

グリーンチタン鉱石の調達先「ノルディック・マイニング社」

PLAN 27 重点施策

海外戦略

重要鉱物資源 レアアースの新ソース開拓

- ✓ 出資したカレマグ社（仏）のレアアース精錬工場の建設を進め、2027年に商業生産開始予定
- ✓ レアアースの中でも重要度の高い鉱物を生産し、日本市場で販売



カレマグ社 レアアース精錬工場（建設中）

海外金属加工事業の強化

- ✓ タイのバンコクサンヨースプリング社（BSS社）の株式を100%取得
- ✓ 自動車部品および複写機やデジタルカメラ等の精密部品の金属プレスおよび樹脂成型品等を製造
- ✓ BSS社の加工技術と当社グループの販売ネットワークにより事業規模の拡大と収益力の強化



バンコクサンヨースプリング社
工場内

PLAN27 重点施策

非財務戦略

男性育児休業取得率の早期目標達成を実現

- ✓ 人材戦略において3つの目標を設定
- ✓ 男性育児休業取得率については、今期に目標を達成

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	PLAN27目標
女性管理職比率	6.0%	6.9%	7.8%	7.7%	10%以上
社員1人あたりの年間研修費用	86千円	118千円	138千円	148千円	150千円
男性育児休業取得率	30.6%	55.9%	73.5%	100%	100%

【参考】2026年3月期 決算実績 キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュ・フローは591億円の収入。投資キャッシュ・フローは、LPガスセンターや国内外における産業ガスプラントの増強等により237億円の支出となり、結果、フリー・キャッシュ・フローは353億円の収入。

(単位：億円)

	2026年3月期 実績	2025年3月期 実績	前年差 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	591	524	+67
投資キャッシュ・フロー	▲237	▲584	+346
フリー・キャッシュ・フロー	353	▲59	+413
財務キャッシュ・フロー	▲370	▲20	▲350
換算差額等 ※1	17	19	▲1
現預金等の増減額 ※2	0	▲60	+60
現預金等の期首残高	275	336	▲60
現預金等の期末残高	276	275	+0

※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連結子会社との合併に伴う増加額」「連結除外に伴う減少額」の合計を表示しております

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております

【参考】PLAN27 セグメント別収益計画 進捗

PLAN27

(単位：億円)		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 通期予想※	2027年度 計画
総合エネルギー事業	売上高	3,932	3,571	3,787	3,677	4,047	4,840
	営業利益	143	201	195	134	231	255
産業ガス・機械事業	売上高	2,404	2,621	2,714	2,887	2,927	3,400
	営業利益	165	217	175	154	185	255
マテリアル事業	売上高	2,424	1,982	2,016	2,183	2,573	3,060
	営業利益	126	123	117	116	130	175
その他・消去	売上高	302	303	310	336	53	400
	営業利益	▲34	▲35	▲26	▲22	▲58	▲35
合計	売上高	9,062	8,478	8,830	9,085	9,600	11,700
	営業利益	400	506	462	383	488	650

※2026年度より、連結子会社2社を「その他」から「総合エネルギー事業」へ区分変更しています。

Iwatani